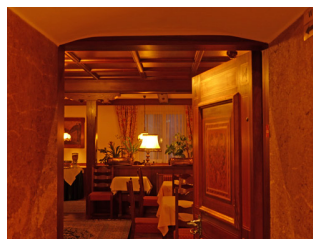
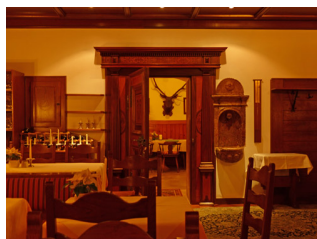


3937 欧州 18カ国の旅：最高・スローな夕餉のひと時

ひとり旅の楽しみの一つに食事タイムがある。ビジネス時代はともかく、今は自由に動けるアートの分野。いろいろな発見や気づき、この領域でも多くを学んだ。取材だけではない。ひとり、テーブルに座って、夢を描き、明日を夢想する時間。この時は、寒々しい湖水地方を脱出。暖のある素敵な雰囲気での食事タイムを切望していた。まず暖かいチャウダーがあればありがたい。ラッキー、スマイル、オン、ミー。



旅や人生で、自由に自分の時間が持てることは最高の贅沢と思っている。

ハードな企業戦士の体験があるだけに、心身の健康と食欲があるということは最高に有難い。

価値観、考え方、感性。頑張った人生の晩年だから、感じられるのかもしれない。

お世話になった、サポートしていただいた、感謝したい人が、次々と思い浮かんだ。

夕食後のラウンジでのひと時、翌朝の朝食も印象深い時間になった。



一番奥の席に座って熱心に読書している少女。どんな本を読んでいるのだろう。

お客さんなのか、このホテル兼レストランの関係者なのか。

そんな想像もしながら、素敵な時間を持った。その後、部屋に戻り、明日の準備はじめ、

天気予報の確認。番組も楽しんだ。

